

## 都市公園における管理運営の成果が再整備や業務改善に及ぼす影響

A Study on Influence of Park Management on Renovation or Operational Improvements in Urban Parks

平松 玲治

Reiji HIRAMATSU

## 【要旨】

本研究では、地方公共団体の公園担当者や指定管理者を対象としたヒアリングの結果から、公園協議会の設置、公民連携、市民参加等、多様な主体から都市公園の管理運営への参画が確認された事例をもとに、都市公園の管理運営の成果について整理し、再整備や業務改善に及ぼした影響について考察した。本研究により、取り組みの成果は、実施を可能にした実現性、初めて行った先進性、実施し続けた継続性の面で評価し整理できることが把握された。成果はハード面では再整備への反映、ソフト面では利用促進等の管理運営や試行の効果検証におけるノウハウの蓄積、システム面では地域活性化やプライドの醸成等に波及することが明らかとなった。

## 【キーワード】

都市公園，地方公共団体，事例調査，ヒアリング

## 国営公園コンセッション事業におけるSPCの要否に関する研究

A study on the necessity of SPC in National Government Park Concession Projects

高橋 克茂

Katsushige TAKAHASHI

## 【要旨】

国土交通省では、国営備北丘陵公園・国営讃岐まんのう公園のコンセッション事業の事業化に向けた検討を令和5年度に開始し、令和9年度第4四半期から両国営公園におけるコンセッション事業を開始する予定である。本研究では、国営公園のコンセッション事業において、特別目的会社（SPC：Special Purpose Company）の設立が必要であるか否かについて考察した。

その結果、国営讃岐まんのう公園のコンセッションに公園財団をふくむコンソーシアムで応募・特定されたと仮定し、かつ、SPCを設立しないという選択肢を選んだ場合、国との契約の相手方は、コンソーシアムの代表企業でありかつ法人である「公園財団」、「公共施設等運営権」の設定先も「公園財団」となる。

しかし、「公園財団」以外の民間事業者の場合についても同様に、国営公園コンセッション事業の契約の相手方は、コンソーシアムの代表企業でありかつ法人である一民間事業者、「公共施設等運営権」の設定先も一民間事業者という状況となるが、一民間事業者に多くのリスクを託すことが適当か否かが最大の課題となる。こうした不安定な（不確実な）状況を避けようとした場合、つまり「倒産隔離」、「不採算による撤退隔離」の担保を確実にしようとした場合、国営公園のコンセッション事業における契約先及び公共施設等運営権の設定先は、SPCに限定すべきであるという考えに至る可能性もある、ということが考察される。

その一方で、国土交通省は、国営公園コンセッション事業における契約先及び公共施設等運営権の設定先として、『特別目的会社（以下「SPC」という。）等』という表現を使っているが、公園財団は、この「等」に、単独で対応できる団体として必要にして十分な、国営公園をはじめとする都市公園等における「総合的公園サービス力」を有する団体であると考察される。

## 【キーワード】

コンセッション事業，公共施設等運営権，特別目的会社（SPC），倒産隔離，撤退隔離，総合的公園サービス力

## (一財) 公園財団設立50周年記念事業「緑・花試験WEB」の記録

A Report on the Parks and Recreation Foundation's 50th Anniversary Project,

"Online Test on Greenery and Flowers"

川田 衣恵 織田 歩

Kinue KAWADA Ayumi ODA

### 【要旨】

一般財団法人公園財団（以下、当財団）は設立50周年を迎え、その記念事業の一環として過去に開催した「緑・花文化の知識認定試験（以下、緑・花試験）」を復活させ、パソコンやスマートフォンにて受験する「緑・花試験WEB」として開催した。本稿ではこの実施記録を取りまとめ報告する。緑・花試験WEBは公園財団では初のオンライン試験として取り組み、当初は3,000名の受験者数を想定していたが、結果は146名と大きく下回る結果となった。その一方、試験運営を通じて、受験者層の若年化や、試験問題作成作業時の課題を把握することにより、今後の他事業などへの展開の可能性について検証することができた。

### 【キーワード】

緑・花文化の知識認定試験, 緑・花試験WEB, 50周年記念事業, オンライン試験

---

## ボランティア主導によるユトレヒトの公共庭園Vlinderhofの整備と管理

Volunteer-led Development and Management of the Vlinderhof, a Public Garden in Utrecht

嶺岸 さゆり 青木 明代

Sayuri MINEGISHI Akiyo AOKI

### 【要旨】

ユトレヒト市のMaximaparkの中にある公共庭園Vlinderhofの整備の経緯や管理について、ボランティアの関与の視点から文献と現地視察による調査を行った。Vlinderhofの整備は、オランダにピート・アウドルフ氏デザインの公共庭園をつくりたいという住民の熱意から始まり、ボランティア主体で整備の資金や労力を集め、整備後の維持管理をボランティアで行うことで実現した。開園後はボランティアで構成されるVlinderhof財団が設立され、高い水準の維持管理を行っており、その運営は、市の補助金だけに頼るのではなく、収入を得る活動を行っていること、ボランティアの参加のしやすさを重視していることが特徴である。Vlinderhofは世界的に有名なアウドルフ氏がデザインした庭園の特徴をボランティアが維持していることで、オランダ国内外から視察ツアー客や観光客が訪れ、地域の活性化に寄与していると考えられる。

### 【キーワード】

ボランティア, 協働, Vlinderhof, Maximapark, ユトレヒト市

---

## 街区公園における住民主体の利活用とコミュニティ形成に関する研究

－熊本市 鳥井原公園 四ッ角マーケットを事例として－

Research on Resident-Oriented Utilization and Community Building in City Block Parks

A Case Study of "Yotsukado Market" in Toriibaru Park, Kumamoto City

石井 裕子 尹 紋榮

Yuko ISHII Moonyoung YOON

### 【要旨】

本研究は、熊本市鳥井原公園で定期開催される住民主体のイベント「四ッ角マーケット」を事例に、アンケート調査や現地調査を通して街区公園の利活用と地域コミュニティ形成の実態を把握し、その意義を考察するものである。調査からは、当イベントが長年にわたり継続され地域に定着していることの要因として、多様な主体の連携と緩やかで柔軟な実行体制があること、街区公園という小規模で身近な空間の特性が地域に根ざした持続的な活動を可能にしていることなどが把握された。また、このような地域のイベントの存在が、地域の交流や公園の利用促進等に寄与していることなどが示唆された。

### 【キーワード】

都市公園, 街区公園, コミュニティ活動, 地域連携, 地域イベント, 利活用, 持続可能性, アンケート調査

# 国営公園における植物発生材の処理・活用の取り組み実態と課題 ～国営公園7事例における取り組みの比較整理～

Current Situation and Issues of treatment and utilization of plant waste  
in National Government Parks

～ Comparative organization of efforts in 7 National Government Park cases ～

佐々木 圭

Kei SASAKI

## 【要旨】

都市公園の植物管理で発生する植物発生材は、環境負荷軽減ならびに資源の有効利用の観点から、適切なリサイクル処理を経て活用することが重要である。本研究では国営公園7公園における現地調査から、植物発生材の処理・活用の取り組み実態を明らかにし、国営公園における植物発生材の処理・活用における諸課題を把握・整理した。調査対象とした7公園では、主な取り組みとして堆肥化が実施されており、主に製造する堆肥の品質確保と管理費縮減に伴う対応が課題となっていた。気候等の自然条件等、個別性の高い状況も把握されたことから、各事例が抱える課題への対策は、「事例ごとの個別検討」と「組織内での情報共有」、「堆肥化に限らないリサイクル方法の転換」が考えられる。

## 【キーワード】

国営公園、緑のリサイクル、堆肥化、資源循環型公園管理

---

# ユトレヒト市における公園及び公共緑地の管理に関する調査報告

A Report of Management of Parks and Open Spaces in Utrecht

青木 明代 嶺岸 さゆり

Akiyo AOKI

Sayuri MINEGISHI

## 【要旨】

2024 年のWUP 世界大会が開催されたオランダユトレヒト市の公園及び公共緑地の管理についてヒアリング調査、文献調査、現地調査を行った。

ユトレヒト市は人口増に伴う都市開発を行う中、みどり豊かなまちづくりは重要視され、高密度化と緑化のバランスをとりながら、健全な都市化を目指し、気候変動対策にも取り組んでいることが把握できた。

ユトレヒト市の公園及び公共緑地の管理は、ユトレヒト市が技術者を抱え、直営で実施しており、日本と比べ維持管理費も多く、生態系に配慮したきめ細かな維持管理が行われていた。公園や広場での大型イベントの実施にあたっては、イベントポリシーを定め、明確なルールのもと許可を行っていた。公共緑地や公園、樹木など多くの基本情報はすべてインタラクティブマップ化されるなどデジタル化が推進されていた。

## 【キーワード】

ユトレヒト、公園、公共緑地、街路樹、緑化、維持管理、イベント、デジタル化、WUP 世界大会

## 国営公園におけるイノシシ獣害対策実施に向けた情報収集

Collecting Information to Implement Measures Against Wild Boar Damage in National Government Parks

山野 浩嗣

Koji YAMANO

## 【要旨】

農作物に対する鳥獣害の被害金額に占めるイノシシの割合は高く、生息地は全国で拡大傾向であることが示されており、国営公園においても芝生地や大規模花畑等への被害が報告されている。本調査では、国営公園で対策を行う上での基本情報の収集を行った。省庁や自治体から発行されているマニュアル等からは、イノシシの生態等に関する基本情報、対策の具体内容、考慮事項等を収集した。また既往研究によって明らかにされている行動特性等の情報も収集した。これらを踏まえ、国営公園でイノシシ対策を行う上での留意事項を整理し、対策実施の一助となるようとりまとめた。

## 【キーワード】

イノシシ対策, 国営公園, 環境整備, 侵入防止柵, 忌避剤

## 技術研究発表会 優秀論文

## 海の中道海浜公園 デジタルマップ導入における試験運用結果報告

A Report on the Results of the Trial Operation of Digital Maps in Uminonakamichi Seaside Park

長谷川 梨華

Rika HASEGAWA

## 【要旨】

国営海の中道海浜公園では、広大な敷地内での来園者の道の迷いや、職員の案内対応の困難さを背景に、デジタルマップ導入への検討と試験運用を実施した。デジタルマップを導入することで、情報の拡張性向上や来園者満足度の向上、行動データの活用、ペーパーレス化による経費削減、業務効率化などの効果が期待された。本取り組みでは、秋の繁忙期を利用して、経路検索機能の有用性や、紙媒体の代替としての情報発信、利用者データの収集と分析を行い、来園者の利用傾向やデジタルマップ運用の実態を検証した。その結果、デジタルマップを使用したことで、来園者が正確に目的地へ到達できたなど、利便性の向上が図られ、施設情報の閲覧数や利用者データの可視化で、より効果的な情報発信が可能となることが確認された。デジタルマップは、操作性の改善や職員間の情報共有等の課題が残る一方で、来園者の利便性や満足度の向上など、管理者側の効率化に寄与する有用なツールとして期待できる。

## 【キーワード】

デジタルマップ, 公園DX, データ活用, 道案内機能, ペーパーレス化, 利用者満足度

## 砂質土（瘦地）における効率的な芝生管理手法について

Efficient Lawn care methods for sandy soil (poor land)

臼井 ひとみ

Hitomi USUI

引田 悠一郎

Yuuichirou HIKIDA

## 【要旨】

民族共生象徴空間 ウポポイ（以下「ウポポイ」という）では、アイヌ文化の復興・創造等のナショナルセンターとして、北海道の原風景と調和した景観づくりが重視されており、芝生管理はその重要な役割を担っている。本研究では、①芝刈り頻度の不足、②砂質土壌による地力の低さ、③一律的で非効果的な施肥方法という芝生管理の3つの問題点に対し、AIロボット芝刈機の導入、腐植酸補給による地力改善、施肥数量の芝生地別最適化等の対策を講じた。その結果、健全な芝生育成と良好な景観維持等において、短期間ながら大きな効果が見られた。

## 【キーワード】

アイヌ文化, 北海道の原風景, AI ロボット芝刈機, 夜間施工, 砂質土, 腐植酸, サステナブル, 景観創出